



図5 韓国の教科書に載るユンノリ

(劉卿美 2005 「ユンノリのさいころについて」『遊戯史研究』第17号)



図6 4本の棒（ユッ）

史料1 『万葉集』の用字とユンノリ

すえのなか ごろ よど
梓弓末中一伏三起淀めりし君には逢ひぬ嘆きは止まぬ (巻12・2988)
ねも ころ ごろに
菅の根の根毛一伏三向凝呂尔・・・ (巻13・3284)
ゆふ づく よ
春霞たなびく京の暮三伏一向夜清く照るらむ高松の野に (巻10・1874)
ちび なな かみのまにまに
わが恋は千引きの石を七ばかり首に掛けむも神之諸伏 (巻4・743)
おしか ど よ か り が ね き こ ゆ く
さ雄鹿の妻問ふ時に月を良み切木四之泣所聞今し来らしも (巻10・2131)
やそとも お か り が ね の き つ ぐ こ の こ ろ
・・・ものふの八十伴の男は折木四哭之来繼比日・・・ (巻6・948)

史料2 遊戯の名前と博戯

『倭名類聚抄』・・・雑芸部。

「樗蒲=加利宇知（かりうち）」→かり=切木四・折木四？

捕亡令 13 義解「博戯者、双六樗蒲の属」とある。

『隋書』倭国伝：倭人・・・围棋・すごろく・樗蒲などの遊びを好む。

天武天皇 14 年 (685) 9 月：天皇御大安殿、喚王卿等殿前、以令博戯。

持統天皇 3 年 (689) 12 月：双六を禁め断む。

文武天皇 2 年 (698) 7 月：博戯・徒手の徒を禁む。

天平宝字 4 年 (760) 12 月：薬師寺僧華達、俗名山村臣伎波都。与同寺僧範曜、博戯争道、遂殺範曜。還俗配陸奥国桃生柵戸。

延暦 3 年 (784) 10 月：遊食・博戯の徒は、蔭贖を論はず決杖一百。

表1 ユンノリの棒の組み合わせと万葉集の表記（垣見修司 2011 「『万葉集』と古代の遊戯」『唐物と東アジア』アジア遊学 147 をもとに作成）

棒の組み合わせ	駒の進行（マス）	韓国語の呼び方、漢字表記	『万葉集』の表記	『万葉集』の訓み
○ ● ● ●	1	ト（豆）、徒・豚	三伏一向	つく
○ ○ ● ●	2	ケ（개）、開・犬		
○ ○ ○ ●	3	コル（결）、杰・鶴・鳥	一伏三起・一伏三向	ころ
○ ○ ○ ○	4	ユッ（윷）、流・牛		
● ● ● ●	5	モツ（豆）、牟・馬	諸伏	まにまに？

